

次の時代に 残すもの(1)

イートン校からの留学生

昨年11月に、イートン校から駒場東邦中・高校(駒東)に留学中のルパート・カールトン・ジョーンズ君が弊社に訪した。ジョーンズ君は昨年夏にイートン校を卒業し、今年秋からケンブリッジ大学で医学を勉強する予定だが、イートン校と駒東との交換留学制度を利用し、2ヶ月間短期留学した。留学を終えて帰国に際し、駒東OBとして交換留学制度を創設支援してきた、弊社社長佐多を表敬訪問したもの。

イートン校はイギリス紳士の養成で名高いパブリック・スクール(注1)の一つだが、最も古い歴史を誇っており、イギリス南部ウィンザー近郊に、ヘンリー6世王によって1440年に創立された。「ワートルローの戦勝(注2)はイートン校の校庭において獲得された」というウェリントン公の言葉で有名。イートン校に代表されるパブリック・スクールの教育は、知的な鍛錬とともに、精神と肉体の鍛錬も重視し同時に行っている。日本の私立学校でもパブリック・スクールの教育を範としているところが多い。

駒東は1957年に学校法人東邦大学が世田谷区の現在地に設立した。東邦大学の理事長兼学長であった額田豊博士と、都立日比谷高校長であった菊地龍道氏が教育の理想を実現するため、又、当時の日本の貧しさから脱却するためには青少年に明るい夢を持たせ、科学的精神に支えられた合理的な考え方を教えるなければならない、という考えに立って、資源のない日本では頭脳の資源化こそ急務である、という理念のもとに設立された。

佐多は、従業員500人の内、4割が非日本人であるという日系企業としてはユニークな多国籍企業である弊社を作り上げていく過程に於て、日本人として国際社会にてどのような価値観を、あるいは国際感覚をもって仕事をしていくべきかということに、関心を持つようになった。そして「やはり若いうちにできるだけ早く外国を見た方が良い」という結論にたどり着く。その一方、アメリカの若者に日本を知らしむべきだと痛感させられたことがあった。実はそれが佐多に交換留学制度を設立支援するきっかけになった。それは、佐多が1973年にカリフォルニア州ニューポートビーチ市に子会社を設立し事業展開をしていた関係で、地元の中学校の生徒達を前に2時間程話す機会があったが、世界地図を前に佐多が話し始めると、一番前に座っていた女の子が手を上げるので何か



と思えば、「Where is Japan?」と質問したことだった。

日本や外国の若い人達に「百聞は一見に如かず」のチャンスを与え国際感覚を持たせることが必要である。その為に自分ができることとして、恩師の遅澤真也先生に相談に伺い、結果、日米交換留学制度がスタートすることになった。その後、この制度が極端ではあるが自分が死んでも永く続くようにと佐多は考え、母校駒東の母体である東邦大学の理事と交渉し、まとまった資金を個人的に提供し「留学生基金」が1986年1月に設立された。その基金が駒東のその後の交換留学制度を支えている。

佐多が申し出て始まったアメリカの高校との交換留学制度が10年を迎えたのを機会に、1987年にイートン校との交換留学制度を進言し、当時の三井銀行ロンドン副支店長西川永幹氏と佐多のついで、日本の中学・高校としては初めて実現・スタートすることができた。パブリックスクールでの学生生活を書いた本で、戦後の名著の一つに数えられている「自由と規律」(注3)に佐多自身が母校在校時に大きな感銘を受け、イギリスのパブリック・スクールの教育こそが学校教育の理想であると信じていることも、イートン校との留学制度を進めた理由の一つである。現在までに日本からアメリカへ23名、イギリスへ13名を派遣、アメリカから23名、イギリスから11名を受け入れ、合計70名の国際交流となっている。

さてジョーンズ君の留学の感想だが、「駒東は自由な校風で、生徒がのびのびと学生生活を送っていました。皆マナーが良く、勉強熱心でフレンドリーでした。先生方もとても親切で、2ヶ月間、快適な学校生活を過ごせました。渋谷の街も活気に溢れていますが、ラッシュアワーの地下鉄の混雑にはびっくりしました。留学はとてもいい経験でした。この貴重な経験の機会を下さった佐多さんに厚くお礼を申し上げます」とのこと。ジョーンズ君が将来、知日家・親日家の一人として、日本・イギリスの交流に大きく貢献してくれることを期待したい。

(注1) パブリック・スクール: イギリス支配階級子弟の教育機関。「パブリック(公立)」と言いつながら私立学校。日本の中学校と高等学校を合わせたものにほぼ相当。

(注2) ワートルロー: 1815年、イギリスのウェリントン公ひきいるイギリス・プロイセン連合軍が、ナポレオン軍を撃破したブラッセルの南にある古戦場。

(注3) 池田潔著「自由と規律」――イギリスの学校生活――(岩波新書)